



がっこう だいじしん お いえ かえ 学校にいるとき大地震が起こったら、すぐ家に帰してくれるの

いえ ひと き かえ 家の人がむかえに来てから帰る

がっこう だいじしん お いえ ひと く かって かえ
学校で、大地震が起こったときには、家の人がむかえに来るまでは、勝手に帰ることはできません。

じしん あと がっこう かえ つうがくる たてもの どうろ
地震の後は、学校から帰るときの通学路に、こわれた建物などが、道路をふさいでいることがあります。また、こわれかかった建物が、くずれてきたり、電線がたれ下がっていることもあって、たいへん危険です。それに、火事が起きていることもあります。

いえ ひと き かえ
このようなわけで、家の人にむかえに来てもらい、いっしょに帰ります。

じしん お つくえ した 地震が起こったら、机の下にもぐる

がっこう てつきん づく こうしゃ おお じしん こうしゃ
学校は、鉄筋コンクリート造りの校舎が多いので、地震で、校舎がつぶれてしまうことは、まずありません。しかし、きょうしつ なか てんじょう しょうめいきぐ お
教室の中では、天井やかべ、とりつけてある照明器具などが落ちてきたり、まど ガラスが割れることがあります。

じしん お ひ け つくえ した つくえ
地震が起こったら、まず、火を消します。それから机の下にもぐり、机のあしにつかまって身を守ります。

そと と だ せんせい し じ か あたま
あわてて外に飛び出さないで、先生の指示にしたがいます。もし、ろう下にいたら、頭を守って、ろう下の真ん中にしゃがみこみ、まど
窓ガラスからはなれます。近くに教室があれば、いそいで入って机の下にもぐります。(監修・国司 真)

